

インタビュー

インフラビジネスに新規参入

ニッセイエコ代表取締役 稲村 学 氏

ニッセイエコは、熱可塑性プラスチック製品の製造販売を主力に、金型設計・金型製造から原材料開発、成形そして、製品試作・製品量産まで一貫対応できる“オールインワン生産システム”が強みで、昨年、会社設立 50 周年を迎えた、長い歴史と実績を持つメーカーだ。そんな同社がさらなる成長を目指し、新規事業としてホース・パイプ製品事業を立ち上げ、インフラ市場に新規参入した。稲村学代表取締役に、同社の概要や新規事業の今後の展開についてインタビューした。

■会社概要

当社は私の父である稲村道雄と兄である稲村竹治が兄弟で 1970 年に創業し、75 年に有限会社稲村ディップを設立、ディップ成形による製品開発からスタートした。

ディップ成形は雄型の金型のみで成形できるのが最大の特徴で、液状 PVC であるゾルに金型を浸して製造するという製法だ。当社では、ディップ成形で、電線の絶縁スリーブや配線用クリップ、端末のキャップ、コネクタの防塵カバーなどさまざまな部材を

鼻孔カニューラ（酸素吸入チューブ）では日本トップクラスの生産・販売実績を持つまでになっている。

当社はグループ会社が多数あり、ニッセイエコは私の義理の叔父である関根明が社長を務め、私は CEO という立場で、ニッセイエコを含めたグループ全体の代表を務めている。

生産拠点は、国内が藤沢本社工場、那須工場、栃木工場、滋賀工場の 4 拠点、海外は中国が 2、ベトナムが 3、インドネシア 1 の 6 拠点となる。

生産拠点を設ける計画で、すでに着手しており 2026 年春までに稼働させる予定だ。将来的にはインドへも進出したいと思っている。

■新規事業参入

当社の技術で、人々の生活や地域社会に直接役立つ製品を作りたいと以前から考えていた。インフラビジネスを通じて、社会に貢献したいという思いから、ホース・パイプ事業への参入を決断した。また、インフラビジネスへの参入は事業の多角化にもなる。世界的なパンデミックや恐慌

高機能なホース・パイプ製品を開発・販売



N.E. ライン A



ダクト EE



エヌプレスト

で、これまで培ってきた技術を活用して、品質や耐久性に優れた製品を開発・生産して事業を拡大していきたい。

小口径から大口径までのサクションホース、ダクトホースを、電設や土木、一般産業分野へ幅広く展開していく。当社グループの売上高は現在約 50 億円だが、これを 10 年後には 100 億円にまで拡大する計画で、このうち半分はインフラ関連にする。将来は海外展開も視野に入れており、今後成長が見込まれる東南アジアでインフラ需要の掘り起こしをはかり事業拡大を目指す。

インフラ製品については、自動車部品開発で培った高品質・高精密基準に基づいて開発・生産に取り組み、価格競争ではなく、付加価値や品

質で勝負していく。生産・開発は栃木、滋賀の 2 工場体制とし、現在両工場の研究・生産設備を整備・強化している。従業員の新規採用も積極的に進めている。

当社グループの社是は、1 に勢、2 に挨拶、3 に魁（さきがけ）、4 に感謝で、「思い立ったらすぐ行動、今やる、すぐやる、速くやる」。

また「こだわり環境ニッセイエコ」として、リサイクルやバイオマス由来の原料研究にも力を入れており、時代の変化に対応する柔軟性とスピードをモットーに新規事業の成長を目指していく。

電設や土木、一般産業分野へ幅広く展開

生産しており、OA 機器や自動車、家電分野など幅広い分野に製品を供給している。

1996 年からは押出成形も始め、現在の主力製品であるコルゲートチューブの生産を開始した。自動車のワイヤーハーネスをメインに、電線の保護管や住宅関連など幅広い分野でコルゲートチューブは使用されている。近年注力している医療関連分野にも製品を展開しており、酸素

タイに合弁会社があり、そこがラオスとマレーシアに生産拠点を有している。

海外展開は自動車部品への参入に伴いアジアを中心に拡大していった。グローバル展開している大手自動車部品メーカーが、海外生産を展開する際、当社に対しても協力の要請があり、それに応える形で進出した。また BCP 対策という面もある。海外については、新たにカンボジアに

の際、特定の産業に依存しすぎると、企業経営が不安定になる。たとえば、コロナ禍では医療と OA 機器向けのビジネスに救われた。ビジネスの裾野を広げることが結果的に経営のリスク回避にもつながる。ディップ成形、コルゲートチューブに加え、ホース・パイプ事業を第 3 の柱として育成していきたい。

幸い押出成形は、当社が得意とする技術分野であるの



藤沢本社工場



栃木工場



滋賀工場

パイプ・サクション・ダクトホース

“ニッセイブランド”
— 誕生 —ニーズに応じた
提案抜群の
コスパタイムリーな
対応！

50年のプラスチック製造技術をもとにお客様の要望に柔軟に応え
品質とコストの両立を実現します。

株式会社ニッセイエコ
〒252-0821 神奈川県藤沢市用田475
TEL.0466-48-7572(代)

NISSEIECO